

平成30年度第2回日進市総合戦略推進委員会 議事録

日 時 平成31年3月13日（水） 午後1時30分から午後3時20分まで
 場 所 日進市立図書館2階大会議室
 出席者 坂井陽二、鶴飼宏成、河瀬英一、三村剛、伊藤正仁、住田穂積、基優子
 欠席者 福安克彦、石黒秀一、亀倉正彦
 事務局 萩野敬明（企画部長）、辻武（企画部調整監）、
 水野隆史（企画部次長兼企画政策課長）、川合陸仁（企画政策課課長補佐）、
 河合一成（企画政策課市政戦略係長）、犬飼啓貴（企画政策課市政戦略係主事）
 説明の為に出席した者 山田進（生活安全課長）、川本賀津三（地域福祉課長）、伊東あゆみ（健康課長）
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 無
 次 第 1 開会
 2 議題
 （1）主要事業の進捗状況について
 ・施策2-1 地域ぐるみの健康長寿のまちづくり
 ・施策2-2 暮らしを支える地域交通網の充実
 （2）平成31年度主要事業について
 配付資料 資料1 地域ぐるみの健康長寿のまちづくりについて
 資料2 暮らしを支える地域交通網の充実について
 資料3 日進市総合戦略における平成31年度主要事業

	1 開会
	2 議題
委員長	議題（1）主要事業の進捗状況についてのうち、施策2-1 地域ぐるみの健康長寿のまちづくりについて、説明をお願いします。
健康課	（資料1に基づき説明）
委員長	KPIを1つの指標に現状の説明、さらに充実していく施策の方向を説明いただきました。これからの時間は、質疑応答、それを踏まえた意見交換、また、地域ぐるみの健康長寿のまちづくりについての提案などをいただけたらと思います。 日本全国で昨年の段階から、75歳以上の高齢者が65歳以上の高齢者数を上回る「重高齢社会」という現象が進んでいます。日進市も1年遅れでその段階に入ったということで、行政として、認知症も含めて健康寿命により気をつけていかねば、介護等も含めた財政措置の負担感が高まるという社会になってきています。そのような中、幸いなことに日進市は当初の目標値81.

	<p>4%であった「普段の生活で介護・介助が必要ない高齢者の割合」が、最新値で91.3%になっています。調査方法はわかりませんが、数字として大変高いと思います。さらに、平均寿命というのは健康寿命とは違いますが、日進市は平均寿命が男女とも愛知県トップということは、おそらく健康な人が比較的多いであろうことが間接的に読み取れます。しかし、この方々がさらに歳を重ねると介護が必要な人も増えます。また、いま働いている人たちの健康意識が高いのかというと、「健康を実感している市民の割合」が8割はあるものの、目標値の95%には達していません。同時に、「健康に意識した取組を行っている市民の割合」も、70%の目標に対して60%となっています。従って、健康を意識している市民が多く、実際に長寿であります。政策的にはまだまだ課題があるというのが日進市の現状と考えます。そこに先ほどのいろいろな施策の方向性があり、これらが効果的に作用したのか、もっと機能するにはどう提案するのかというのが、論点になってくると私なりに理解しています。</p>
委 員	<p>資料1の6ページの介護支援ボランティア事業について、登録者が107人というのは多いのでしょうか、少ないのでしょうか。</p>
地 域 福 祉 課	<p>比較するのが難しい数字ではありますが。先進的に取り組んでいる自治体ではもっと多いところもありますし、近隣と比べても多かったり少なかったりします。当初の目標として200人程度まで増やしたいという思いがありますので、それと比べると少ないのが現状です。年々増えてはいますので、さらに取り組んでいきたいと考えています。</p>
委 員	<p>「ポイントを交付金などに交換できる制度」というのはたくさん利用があるのでしょいか。私にとってはわかりにくいと感じますので、高齢の方はもっと使いにくいのではないのでしょうか。</p>
地 域 福 祉 課	<p>日進市では「ポイント通帳」という貯金通帳をイメージしたポイントカードのようなものを作っています。ボランティアを行った施設でハンコを押してもらい、ハンコの数に応じてポイントが付与されるという仕組みで、貯める楽しみを感じながら活動していただくものです。ただ、1年を通じて長期的にボランティアをしないと、交換できるまでのポイントが貯まりにくいということもあります。</p>
委 員	<p>ポイントが貯まった方から喜びの声などはありますか。</p>
地 域 福 祉 課	<p>交換された方には大変喜んでいただいています。</p>
委 員	<p>私自身は、ポイントカードが多すぎると扱いきれずに捨ててしまうこともあります。高齢の方が紛失はされないのでしょうか。</p>
地 域 福 祉 課	<p>通帳形式にしたのはそのあたりの意味もあります。高齢の方にはカードというより通帳という方が、貯めるイメージが湧きやすいと考えました。</p>
委 員	<p>こういう制度がありますよという、市民への案内ツールはありますか。広報紙やホームページでしょうか。</p>
地 域 福 祉 課	<p>それ以外にも公共施設での広報や、老人クラブへの案内を行っています。</p>

委 員	今後、高齢化も含めた人口増加を考えると、介護予防と要介護という二つの視点が出てくると思いますが、これに対して取組はありますか。
地域福祉課	予防という面では、8ページの事業になります。介護予防・生活支援サービスの「足腰おたっしゃクラブ」と「健口健食げんきクラブ」は、要支援者等、要介護度が低い方のための事業です。専門職が入ることによって重症化を早めに予防していく取組で、さらに健康になっていただくことを目指して行っています。それらを卒業された方は、「ゆうゆう体操教室」等の一般介護予防事業に移って継続的に続けていただいています。
委 員	介護予防の取組も大切ですが、実際に要介護になった後についても取組を進めていただきたいです。75歳以上の後期高齢者になると要介護者の割合が大きく増えますし、日進市でもそれが進むことは当然予想されますので、対応を考えておく必要があると思います。
地域福祉課	生産年齢人口が減るということは、先ほどの介護予防・日常生活支援総合事業についても、サービスの担い手自体が減っていくということになります。高齢者でも担い手側になれる方は少しでもお手伝いいただき、地域の支え合いになるような取組を進めていきます。
委 員 長	要介護認定率のグラフを見ると、ある年齢からぐっと曲線が上がるのがわかりますので、その人たちにどうアプローチするかということが、みなさんの念頭にあるかもしれませんね。また、担い手となる方にどのように参加してもらうのかということが、もう一つの課題になるかもしれません。
委 員	7ページについて、これを見ますと65歳以上の方へいろいろな手立てが考えられていると思います。しかし、3ページのグラフにあるように65歳以上人口の増加を考えると、私のような50代や40代へ前もってアプローチすることも大切になると考えます。そのあたりは今後どのように考えていますか。
健康課	その年代は働いている人が多いと思います。地域だけでなく職域においても健康経営という考え方がありまして、働く世代の健康づくりを国がいま進めており、各保険者が意識をもって取組をしています。市としてもそのような職域との連携をしながら進めていきたいと考えています。例としては先ほど説明もありました健康マイレージです。職域においても何か取組をしていただけないかお願いしまして、昨年度よりは少ないですが実現しています。今後はマイレージ以外にも連携する取組を広げていければと考えています。
委 員 長	一昨年、市の総合計画の推進部会においても、健康づくりというものをどう進めていくかという議論をしました。課題は、日進市だけでは国民健康保険の人だけが対象で狭すぎるため、どう限定を外して他の健康保険者まで広げられるかということでした。高齢になって国民健康保険の対象になってから健康づくりを始めては遅いので、その前の職域段階での連携が不可欠という結果になりましたが、なかなかその連携がやりきれないというのが課題です。健

	<p>康経営という言葉だけでなく、日ごろから社員のみなさんに健康を意識していただけるといいですね。医療機関も含めて、ストレスチェックや、いろいろな側面から連携できるといいと思います。</p> <p>では、私から1点質問させていただきます。9ページの③の「つどいの場への専門職派遣」ですが、口腔ケアの派遣がありません。口腔ケアですと歯科衛生士や歯科医師の職域になると思いますが、何故ないのでしょうか。</p>
地域福祉課	<p>現在、歯科衛生士や歯科医師等の派遣ができればと検討しています。派遣していただけたところがあれば、連携して実現したいと思います。</p>
委員長	<p>先日、介護施設を何戸も視察しましたが、その中のいくつかには歯科医師と歯科衛生士がセットで訪問をしていました。それも、いわゆる開業歯科医ではなく、訪問を専門としたグループでした。そういう人たちが出始めていますので、連携の仕方ももっと効果的にできる気がします。口腔ケアは意外と簡単に考えられていますが、食が基本になると考えると大きな領域になります。一度調べていただけるとよいと思います。</p>
地域福祉課	<p>在宅医療・介護連携支援センターのやまびこ日進で、管理栄養士による栄養ケアステーションを立ち上げ訪問するという仕組みが始まると聞いています。</p>
委員長	<p>では、これからというところですね。楽しみです。</p>
委員長	<p>続いて、施策2-2 暮らしを支える地域交通網の充実について説明をお願いします。</p>
生活安全課	<p>(資料2に基づき説明)</p>
委員	<p>日進市は市街化区域と市街化調整区域で南北に分断されている都市だと思っています。いま南北間の交通がいいのかという疑問です。市民交流するにしても、車や自転車でないといけないという状況がずっと続いています。特に高齢化社会が進むと車社会ではなくなりますから、その辺りをカバーできる交通網が必要になります。平成29年4月にくるりんばすが再編されて、約1年間で2万人の利用者が増えていますね。昔は愛知学院大学から市役所へ行くには赤池をぐるりとまわっていました。香久山から市役所に行くのに40分くらいかかった経験もあります。そのときはこんな不便な交通機関はないなと思いました。平成29年4月の再編で7コースに編成されたとありますが、それで南北の交通がうまく整ったのかが疑問です。例えば資料2の2ページを見ると、平成17年3月には藤ヶ丘～日進駅の路線が廃止されていますね。また、平成20年4月には日進駅～長久手古戦場駅が廃止されています。長久手古戦場駅はリニモの駅です。さらに平成21年4月には赤池駅～長久手古戦場駅という、せっかく南北をつないでいる路線が廃止になっています。これが再編後の7コースでカバーされているのかを疑問に思っているところです。</p>
生活安全課	<p>おっしゃいましたとおり、廃止された路線を見ると、これがいまあれば便利</p>

	<p>だろうと思われる路線が多々あります。</p> <p>いまのお話で2万人増えたとありましたが、これは再編前のくるりんばす中央線だったときと、移管後の名鉄バス日進中央線になったあとの比較を載せております。くるりんばす7コースでは概ね10万人程度の減少になっています。</p> <p>カバーできるのかという点については、2ページの表の下から2番目の赤池駅～長久手古戦場駅までの路線が、現在の日進中央線に置き換えて復活したという状況です。</p> <p>くるりんばすの運行の考え方としては、市役所を拠点として、市役所で乗り換えてどこでも行けるという観点でコースが組まれています。米野木地区に近い場合は米野木駅、折戸地区の場合は日進駅、北の地区の場合はリニモの長久手古戦場駅と、人が集中する駅へつなぐという路線編成がされています。市役所では、乗り継ぎ券が無料で運転士からもらえます。ただ、ダイヤの都合で少々待ち時間をいただく場合もあります。</p>
委員	<p>相変わらず市役所を中心にした発着ですが、市役所への利便性の向上が、私たちの生活の利便性の向上にもなっているかという点と全く違うと思います。利用率がよくないことは料金の値上げの問題もありますが、高齢者が例えば香久山からおりど病院に行こうと思うとルートがないのです。いったん市役所に行って、乗り換えて行かなくてはいけない。おそらく1時間半以上かかるでしょう。車で行けば15分程度です。こんな不便な交通網はないのではと思います。また時期が来たら、その辺りも含めて検討していただきたいと思います。</p>
委員長	<p>公共交通会議に対する、この会議からの一つの要望としてお汲み取りいただければと思います。</p>
委員	<p>近所の一回り年上の方が、くるりんばすがとても不便になったと言っていました。しかも200円に値上がり、名古屋の市バス210円と比べてもこんなに不便なのに200円なのかと。若い人は使わないのに、さらに高齢者も病院に行けないような状況では、この再編は名鉄バスのためとしか思えません。先ほどの健康長寿について、私はくるりんばすを無料にして高齢者の方が無料で乗れたら、地域の福祉会館やスーパーに行って元気に過ごしてもらえるのではと思います。無料化等については考えていませんか。</p>
生活安全課	<p>65歳以上無料化等の要望の声はいただいている現状です。料金改定の際には利用者負担率を考えて設定しています。その辺りを含めて、公共交通会議の場で整理した上で、適正な運賃設定について審査・協議をしております。</p>
委員	<p>名古屋市と比べると定期券も高いですね。名古屋市の充実ぶりを見ると、日進市の半年5千円は高いと思います。</p>
事務局	<p>名古屋市は、市がかなり財政的な負担をしています。</p>
委員	<p>名古屋市の高齢者はすごく喜んでそこら中に元気にお出かけしていますか</p>

	ら、そういう健康長寿のまちを目指してもいいのではと思います。
生活安全課	<p>そういった料金の話について、近隣市町の状況を参考までに申し上げます。県内で有償運送している41市町で確認している運賃特例の状況ですが、65歳以上無料を行っているのは長久手市、東郷町、小牧市の3市町のみです。日進市においては子育て世帯が多いという特徴がありますので、中学生以下を無料にしていますが、これを県内で行っているのは本市を含む5市町のみです。ちなみに他は北名古屋市、長久手市、東郷町、東栄町です。</p>
委員長	<p>高齢化が進み、特に75歳以上で運転免許を自主返納する人も増えていくという時代の変化の中での大きな検討課題となって、みなさんの声として出てきているということだと思います。便利な手段としての公共交通の再整備をご検討いただきたいと思います。</p> <p>私から一つ意見ですが、公共交通会議でも検討されているかと思いますが、バス路線という考え方自体が時代とそぐわなくなっている可能性があります。フィンランドのヘルシンキでのウィムという公共交通網ですが、ここには鉄道、地下鉄、バス、レンタカー等々が含まれ、同一料金の中で相乗りしていくという考え方が一般化されています。これも行政の人達が行った取組です。もちろんそれと同じこととは思いませんが、一番重要なのは、基幹路線をどうつなぐかという毛細の部分の人の流れを設計する時代になっていると考えると、もう少し交通の手段を広げる形で検討されてはと思います。バス一つとっても、オンデマンドバスの実験が始まっています。この近くですと、多治見市のコミュニティタクシーのグループがオンデマンドバスの実験に参加して、北海道の公立はこだて未来大学の研究メンバーもここに入ったりしています。経験値が貯まっていると思いますので、情報収集も含めて、公共交通会議において日進市のよりよい体制を作っていただけることを願っています。</p>
委員	資料2の5ページのくるりんばすを使った小中学生の社会見学ですが、これは学校が申し込む仕組みでしょうか。
生活安全課	相野山小学校の事例ですが、学校から申し出をいただきました。この小学校は学級の児童数が小規模ということもあり、くるりんばすで実施が可能だと判断し、学校と連携して実現しました。
委員	学校以外にも事例がありますか。
生活安全課	老人クラブの社会見学等に無料で利用していただいています。くるりんばすを使うきっかけや交流の機会になることを期待しています。
委員	私は日進市に住んで23年くらいになりますが、実は一度もくるりんばすに乗ったことがありません。乗ったことがない、乗れるけど活用できないという、私くらいの層の人達がまだ多いのではないかと思います。ですので、くるりんばすを使ってプライムツリーへ行った事例等は、とてもいい活動だと思います。

	8ページの福祉有償運送の話ですが、ドライバー不足解消のために養成講座を開催するとありますが、講座受講の希望者はいるのでしょうか。
地域福祉課	募集してみないとわからないところはありますが、市が広く募集しますので、定年後の男性等が手を挙げてくださるのではと期待しています。
委員	自分の義父が同様にドライバーになろうかと言っていたのですが、高齢者の送迎ですから補助的な作業もあり、体力が必要なため、結局挫折してしまいました。そういう意味ではけっこうハードルが高いのかなと感じます。今後高齢者が増え、介護の担い手もさらに必要になりますが、よその自治体も同じですから人の取り合いになることも予想されます。企業の場合はお金で解決ということもありますが、それがこういうことに当てはまるのかというところなのでしょう。企業に身を置く者として、人の確保は気になります。
委員長	私の地元では、行政の手を借りずに、いくつかのボランティア団体が自分達でドライバーを見つけて、それぞれ違う運用方法でサービスを始めました。それでもケアマネージャーさんから「利用したい」という電話がひっきりなしで、人手が足りないそうです。必ずしも市の募集だから来るものではないかもしれませんが、信頼できる団体の口コミの方が集まるかもしれませんし、とにかくいくつかのネットワークで広げていくしかないのが現状だと個人的には思います。ぜひチャレンジしていい方法を見つけていただきたいです。
委員長	続いて、議題(2)平成31年度主要事業について事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料3に基づき説明)
委員長	何か質問等はございますか。
委員	私は公立保育所が大切だと思っているのでお聞きしますが、今後保育所の民営化についてどのような計画や方針ですか。
事務局	今年度、公立保育園のあり方について検討し、計画を策定する予定です。現在の時点では方針は決まっていないと聞いています。
委員	9ページのペタンクについてお聞きします。スポーツには相手と競うタイプのものと、そうでないものがあります。例えばゲートボールは前者で、グラウンドゴルフは後者ですね。そこも踏まえてこのペタンクが有効なのか検討されてはと思いますが、このペタンクはどちらでしょうか。
事務局	これは競うタイプのものです。カーリングのようなものをイメージしていただければと思いますが、点を取り合う競技です。
委員	14ページの道の駅について、「重点道の駅」の認定が取れそうだと聞いていますので、ぜひいいものをつくっていただきたいと思います。
委員長	基本計画の際にはかなり議論がありましたので、いいものになることを期待したいですね。
委員	基本計画を読ませてもらいましたが、当初あった「子どもがのびのびとサッカーをできる広場」という言葉がいつのまにかなくなっていて、小さな広場が申

	<p>し訳程度にできるように私には読めました。どうせ作るなら刈谷のハイウェイオアシスくらい大きなものをつくってほしいという意見が、私の子育て仲間の間では出ています。申し訳程度の広場では立ち寄らずに通り過ぎてしまいますので、そういう声も汲んでいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>広場の面積自体は当初から変わっていません。サッカーができるかということについては、設計上の問題で、例えば駐車場の車の流れとの兼ね合いなど詳細を詰めた結果、サッカーはやめることになったということはあるかもしれません。</p>
委員	<p>そもそもの規模が小さいのかもしれませんがね。中途半端なものをつくるより思い切ったものをつくるというのが私の気持ちです。モリコロパークへ行く途中にあったとしても、中途半端なものだと寄り道せずにモリコロパークまで行ってしまう気がします。子育て支援についても検討されていますが、何を狙っているのかという疑問があります。</p>
事務局	<p>道の駅ですので、通行する人の休憩所としての役割が一つあります。さらに市民協働の場として造られることと合わせて、子育て世代の方々も使える場にしていきますので、色々な機能があると考えています。</p>
委員	<p>防災拠点としての機能もありますね。</p>
事務局	<p>そうです。防災拠点にもなります。</p>
委員	<p>狭いスペースにたくさんものを詰め込んで、中途半端なものになってしまうのではないかとというのが私の印象です。</p>
事務局	<p>これまでの道の駅に防災や子育て支援といった付加価値を付けることで、よりまちづくりの拠点として活かしていくという考え方は、国からも認めていただいているので、ご理解をいただきたいところです。</p>
委員長	<p>道の駅には大変な議論がありました。それこそけんか腰になりそうなくらい勢いの強い人達もいましたが、批判ではなく、よりよいものにしたいという思いでした。私も当初から議論を聞いていましたが、実は屋外のスペースが議論に上ったことは一度もありません。広場があるということはみなさん理解していましたが、隣に駐車場があり危険性が高いということが共通認識にあったと思います。これは明言されていたわけではないので、図面を見ることで理解されていたのだと思います。市民協働という言葉も出ましたが、逆に屋内に多目的に使えるスペースを設置し、そこをどう使うかという議論が多くあったと思います。しかし特定目的の施設ではないので、どう使うかは使う側がどう考えるか、誰とどう使うのかということに依存していくのだろうと理解していました。</p>
委員	<p>日進全域から道の駅に集まるというイメージだと思いますが、最初の議題でありましたように、健康長寿を目指して、歩いて行ける福祉会館やコミュニティスペースをたくさん作ったほうが、道の駅をつくるより高齢者が元気になると思います。また、ベビーカーを押して行ける距離にコミュニティスペー</p>

	<p>スがあってほしいと思いますので、道の駅で子育て支援と言われても疑問に感じてしまいます。車で道の駅に行くというのであれば、長久手市のイオンや赤池のプライムツリーでも十分足りていると私は思います。</p>
委 員 長	<p>確かに、実際に始まってみて、どう使い分けられるかというのがポイントだと私も思います。近隣の歩いて行ける範囲の整備と道の駅の整備は目的が違います。道の駅が交通渋滞の解消になるかは疑問ですが、日進市が対外的に情報発信をしていくときの拠点になるというのが一つ目的としてあります。日常型ではなくテーマ型のイベントを行うときの拠点になると思いますので、日々関わるというイメージとは違うと思います。交通拠点、休憩スペースとして使うのは日々のことですが、それは日進市民が使う目的と違うかもしれません。通過者がどう使うかということと、日常生活の中でどう使うかというのがシンクロしてこないというのは実状としてあると思います。</p>
委 員	<p>うまく使い道がわからないといいますか、私の中でこんなふうに使いたいというものが湧いてきません。</p>
事 務 局	<p>ぜひ使っていただいて、またご意見をいただければと思います。</p>
委 員 長	<p>議論は尽きないところでありますが、時間となりましたので、事務局へ進行をお返しします。</p>
事 務 局	<p>様々なご意見をいただき、ありがとうございました。今年度の会議はこれが最後となります。委員の皆様の任期は2年となっておりますので、来年度も引き続きよろしくお願いたします。来年度の日程につきましては、改めてご連絡をさせていただきます。</p>
	<p>閉会</p>